

科学技術政策担当大臣と有識者議員との会合 議事概要

日 時 平成 22 年 10 月 21 日 (木) 9 : 30 ~ 10 : 00
場 所 合同庁舎 4 号館 1214 会議室

出席者 海江田大臣、和田政務官、相澤議員、本庶議員、奥村議員、白石議員、今榮議員、
青木議員、中鉢議員、金澤議員、泉統括官、梶田審議官、岩瀬審議官、大石審議官

議事概要

議題 1 . 平成 23 年度概算要求における科学・技術関係施策の優先度判定について

< 須藤参事官説明 >

海江田大臣 皆様、おはようございます。特に今日は足元の悪いところ、朝早くからお集まりをいただきまして、心から感謝を申し上げます。

ご案内のとおり、本日の大臣・有識者会合においては、科学・技術関係予算に関する優先度判定を決定するところでございます。本件は来年度予算概算要求に政府の科学・技術政策に関する方針を反映させ、我が国の科学・技術政策を一層推し進めるために極めて重要なものでございます。優先度判定原案の作成のためには本当に大変な膨大な作業が必要なことは、私も重々承知をしているところでございます。特に、お集まりの各議員の皆様方におかれましては、連日、昼夜を問わず、深夜にわたるご苦勞をおかけいたしましたまして、本当に心から感謝を申し上げます。

今日は、この後10時から参議院の内閣委員会で質疑がございます。私も大分質問が予定をされておりまして、この発言が終わりましたら直ちに戻らなければいけないわけですが、内容につきましては和田隆志政務官が今日はしっかりと皆様方のご意見も聞かせていただきまして、またこの議論に参加をさせていただきまして、結果は後ほど和田政務官からしっかりと説明を受けたいと思います。

そして、明日、いよいよ本会議がございますので、これも総理の時間、20分程度ということで、これも大変短うございますが、ただ、当初は本人、10分だけで勘弁してくれないかというところでもございましたけれども、そうはいきませんので、そこで20分しっかりいてくださいということにいたしました。本当に皆様方のこれまで重ねられたご苦勞に対して、短い時間でございますが、しっかりと官邸でこの本会議を開催したいと思っております。この場でぜひ本日はご決定をいただきたいと思っております。

以上でございます。本当に心から感謝を申し上げます。ありがとうございます。何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

相澤議員 ありがとうございます。

本庶議員 この予算 3兆6,000億円というのは、昨年度の概算要求と比べてどのような状況であるか、少し簡単に説明していただけませんか。

相澤議員 それでは、数字をお願いいたします。

本庶議員 概算要求ベースで結構です。

須藤参事官 少々お待ちください。

本庶議員 それでは、後でも。

岩瀬審議官 では、口頭で。去年に比べてたしか総額で1.9%、690億円。概算要求ではなくて、本年度予算と比べてでございますね。概算要求でございますか。

本庶議員 概算要求ベースで。確定予算ではなくて、どのぐらいか。

相澤議員 それでは、数字は後ほどということに。

須藤参事官 申しわけありません。

金澤議員 同じく1ページ目で、優先度判定対象は1兆3,000何とか億円。これを2つに分けているわけですね、18%の部分と19%。この左側の部分というのは何と呼んだらいいのでしょうか。カテゴリーとしては何か呼び名があるのですか。ないならいいのですけれども。

須藤参事官 基本的に、これは合わせた形の中で、ここはS A B C等という言い方で、S A B Cをやっているのが6,600と、そういう言い方を普通言っておりまして、詳細な見解づけに対応するような言い方のことは、今までそういう場合には使っております。

金澤議員 そうなのですか。わかりました。結構です。どうもありがとうございます。

相澤議員 ただいまの最終的な判定結果は簡略的に整理されているわけでありましたが、それぞれの施策についてどういう見解が述べられているか等々については、この大部の資料を見ていただきたいと思います。

それから、さらに重要なことは、各省に対してはどのような見解を示したかということが資料の2の5ページから全体ヒアリング、それからパブリック・コメント、若手専門家等々の意見を整理してまとめられております。特に、省別になるのが15ページからであります。これについてもかなり厳し目のところもあれば、今後の検討に期待するところというようなことがあります。この各省に対する見解が、今までの施策パッケージを行っていない状況から比べると、一段と具体的な表現になっているかと思えます。

このようなこと全体を見ていただきまして、これから最終的にご決定をいただくことになりませんが、個別の見解についてはこの席で目を通すというのはなかなか難しいところかもしれませんが、そういうようなことが全部含まれているということでのご了解のもとでございます。

和田政務官 私のほうから1つだけご報告差し上げたいと思います。

今お話のありましたとおり、この大部にわたるほうには各案件についてかなり詳細な内容をご報告していただいております。本当にありがとうございます。これに関連してのご報告ですけれども、今回、先ほどのご説明にもありましたとおり、若手の研究者の方々にコメントを求めまして、それをやっぱりこれからも継続していきたいという意思を持ってのことなのですが、しっかりとこういった本当にオーソライズされるものにコメントをいただいたものを掲載しましたということを示す必要があるというように思っています。まずはいただいた方々に敬意を表しながら、昨日でしたでしょうか、私のほうから、本当にありがとうございましたというレターをしたためまして、この発表より前にお届けするほうがいただいた方々には礼儀として丁寧であろうと思いたしましたので、PDFファイルにしましてメールで送信させていただいております。

そういったことで、会議の議員の方々にもそういったことをお知りおきいただければというように思います。これから先、また次につなげていく意味では、こうした方々のご協力を政府としては仰いでいきたいというように考えております。

相澤議員 今回の予算編成に向けての改革は、幾つか軸がございました。1つは、アクション・プランというものを策定して、各省が予算策定の準備に入る前から総合科学技術会議の

方針とのすり合わせをしながら進めていくということと、その中でもさらに施策パッケージという形で、非常に特化したところに絞っております。それから、審査の体制では、ただいまの若手研究者を加える、それから施策全体についてのパブリック・コメントも求める等々の体制で取り組みました。そういうようなことが個別の施策についての総括としてのまとめに十分に反映されているというように思っております。

それでは、ただいまのご質問いただいた点等々も勘案いたしまして、全体についてのご了承を得るということに進んでよろしいかどうか、お諮りしますが、よろしいでしょうか。

それでは、資料の2につきますのでこの大臣・有識者会議としてのご決定をいただきたいと思っております。ご了承いただけますでしょうか。

ありがとうございました。

それでは、資料の2を決定させていただきました。

それから、参考の資料ではございますが、ただいまの決定に基づいて整理された優先度判定の結果の一覧表が資料の3でございます。これには、関連して、「元気な日本復活特別枠」に要望を行っている施策についても付しております。そのところにも総合科学技術会議としての判定が一番左側の判定というところに付されております。これは、ただいまの参考資料の28ページから始まっているところでございます。

それでは、ただいまご決定いただきましたので、第1の議事は以上とさせていただきます。

先ほどのご質問に対する答えが用意できたようですので、お願いいたします。

須藤参事官 それでは、大変恐縮でございますが、いわゆる新規、継続のほうの数字だけでも、23年度要求では6,632億円でございますけれども、22年度は5,644億円ということでございますので、1,000億近く増加になっているということでございます。22年度要求で優先度判定したのは5,644億円でございます。

本席議員 それはここのSABC対象のところだけですね。

須藤参事官 SABCと継続のところです。

本席議員 ここですね。ここだけですね。

須藤参事官 はい。

本席議員 総額は。

須藤参事官 総額は、済みません。

本席議員 すぐわからない。

須藤参事官 すぐわからないです。

本席議員 わかりました。

須藤参事官 申しわけないです。とりあえず、この場ではそれをお願いいたします。

相澤議員 実は、今までその意味での総額は、こういう公的な資料として扱っていなかったために、多分事務局がちょっと戸惑っているかと思っております。今回初めてこの全体像を示したことになります。したがって、そこら辺のデータを、整理すれば出てくると思っております。

須藤参事官 申しわけありません。

泉統括官 昨年度要求は、当初要求を出した後、さらに政権交代がございまして、新しい新政権のもとで要求予算を出し直すべしという方針もございましたので、その新しく出されたものについて優先度判定をされたということなので、比較のベース、後ほど整理はいたしますけれども、そこも踏まえて比較する必要があるというように思います。

それから、当然、そういう意味では予算要求の方式も、いわゆる概算要求基準といますが、そういうものも去年の出し直し後のものと今年のものかなり違っておられますので、そういうことにも留意する必要があるというように考えております。

本席議員　ですから、ここを聞いたのですけれども。

泉統括官　そういうことも留意して整理いたしたいと思いますので。

2．第93回総合科学技術会議について

(会議開催に向けた事務的な打合せであるため非公開)

(以 上)